

(参考様式14)

事業所名

発達応援スペース ジブンドキ

支援プログラム (児童発達支援・放課後等デイサービス)

作成日

7年

6月

1日

法人 (事業所) 理念		関わるすべての人の笑顔と幸せを願い、それぞれが自分らしく輝ける、温かく豊かな社会の実現に貢献する						
支援方針		「行ってきます」と「ただいま」がいつも笑顔になり、一人ひとりが自分らしく輝ける、安心できる居場所を提供するため、以下の3つの柱を中心に支援を行う。 1一人ひとりの「やりたい」という気持ちを大切に、自己選択を促す関わりと声かけを行う 2小さな「できた」を積み重ね、成功体験を通して自己肯定感を高める 3地域の人や団体と積極的に交流を図り、社会参加を促進する						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
		支援内容						
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握をする ・身だしなみや食事マナー等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるようサポートする ・生活の中での課題を利用者や家族からヒアリングし、個別支援として取り組む						
	運動・感覚	・遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、保有する感覚を十分に活用できる支援を行う ・運動やダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図る ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行う						
	認知・行動	・色や数字など、様々な概念獲得に向け、利用者の特性や能力を観察し、課題を提供する ・製作活動により色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養う ・公共の場でのルール (飲食店や公共交通機関など) が身につくよう、さまざまな体験活動を行う						
	言語 コミュニケーション	・遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れるよう支援する ・遊びや他者との関わりの中で「自分の感じていることを伝えたい」という気持ちを育む ・非言語コミュニケーションも大切にする						
	人間関係 社会性	・スタッフや友達との活動を通して他者との関わり方の経験をつむ ・製作活動を通じて「やり遂げた」という達成感を感じられるようサポート ・一人ひとりとの関係を意識し、スタッフと親密な関係を築き、その信頼関係を基に周囲の人と安定した関係を築けるよう支援を行う						
家族支援		・ペアレントトレーニングを行う ・家族からの相談や悩みに対する助言 ・兄弟、姉妹の関わりやケアについて、必要な情報を与える。また、他の兄弟・姉妹と関わる機会を増やすための交流会を実施する。 ・送迎時などに家庭や学校の様子を共有する時間を設け、療育活動に活かす			移行支援		・関係機関との情報共有を行う ・ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流を行う (地域の公園利用や地域イベントへの参加) ・地域と繋がりながら日常生活を送るため、地域住民との交流を実施	
地域支援・地域連携		・関係する放デイや児童発達支援事業所、相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る			職員の質の向上		・職員の各種勉強会や研修への参加 ・児発管等資格取得の支援 ・研修で学んだ知識を他の職員へのフィードバック	
主な行事等		誕生日会・土曜日、長期休暇中の所外活動やクッキング・季節ごとのイベント (プール・クリスマス会など)						